

No.623

法音

令和3年
9月号

— 今月のご法話 —

行住坐臥のお題目と三徳の実行

目蓮宗
法音寺



勇猛精進

慈悲

今日一日、
人を喜ばせましょう

今日一日、
笑顔で人に接しましょう

今日一日、
ほめ合って暮らしましょう

今日一日、
一善を積みましよう

月刊・法音 令和3年9月号 No.623 目次

【信仰の指針】誓願せいがん 我妙法を以って佛を成ぜん 1

【朝のこない夜はない】

行住坐臥のお題目と三徳の実行 山首 鈴木正修 2

◆ 講日のご案内 17

◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 18

◆ 全山二斉清掃奉仕の日のご案内 20

◆ 仏教説話・乱暴者と柔和な人 21

◆ YouTube「お彼岸」のお知らせ 29

◆ 知っているようで知らなかった！法音寺のこと② 30

◆ お寺の本棚 34

◆ のりのね体験 36

◆ 教えて三徳 38

◆ 支院だより 40

◆ 福祉のひろば 55

○ 幸せのお手伝い 56

○ 昭徳会・「地域福祉の礎」 58

○ 日本福祉大学スポーツ科学部 にぶくづく水広場を開催 60

◆ 賛助員ご芳名 62

◆ 謹んでお見舞いを申し上げます／編集後記 64

◆ 連載まんが・ひまわり・104 感謝 65

◆ 法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書 表紙写真・バラ

掲載写真 表紙・信仰の指針・3～17頁・梅田雅臣氏撮影

2頁・加納将人氏撮影

信仰の指針

せい がん

祈言願

我妙法を以って

佛を成ぜん

日教五



イカリソウ



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

行住坐臥のお題目と三徳の実行

ほうおんじ 法音寺の始祖・杉山辰子先生のお話をします。

かさまつ 笠松の名家であった杉山家も明治になり、だんだんと
すいたい 衰退していきました。杉山先生は、家運をどうにかして
ばんかい 挽回したい〴〵と思われ、16歳の時に、大垣で当時有名だ
った法華経の行者・鈴木きせ師のもとを訪ね、修行を始
められました。そして三年後、19歳になられた杉山先生
は、天眼通を得られました。

すぎやませんせい 杉山先生があるお寺で瞑目合掌され、お題目を唱えて
おられると、目蓋の裏に位牌が浮かんできました。する
とその位牌が牛馬、魚類の形にそれぞれ姿を変えたので
す。ハツと目を開けるとその位牌が目の前にあります。
せんせい 先生は、今見た位牌だ〴〵と思われました。中には人間に



見えた位牌もありました。そのことを鈴木きせ師に話される。「それは天眼通です。その亡くなった位牌の人達がどうなっているかをあなたは見たのです」と言われました。今世で人間に生まれても、来世に人間に生まれるかどうかはわからないということです。人間の姿に見えた人は、調べてみると、生前に善いことをした人達だったそうです。

鈴木きせ師は「人間に生まれることは、なかなかないことなのです。お釈迦さまが弟子の阿難尊者に『大地の砂の数は無数にあるけれども、人間に生まれることは、爪の上の砂程のことだ』と、説かれたように稀なことです。また人間に生まれたとしても、仏さまの教えを聞いて成仏できるといような人は、本当に稀な人なのです」と言われたそうです。

この話を聞いているうちに、杉山先生には新たな疑問



が湧いてきました。それは、この位牌の人達をご供養して救うにはどうすればよいだろうか。人間が本当に救われるには具体的にどうすればよいかが、ということでした。この問題は鈴木きせ師に聞いても的確な答えは得られませんでした。法華経が最上の經典であることに疑いはないが、その法華経を日常生活の中でどのように応用すれば人間の苦悩解消に役立つか。その方法は自分で見つけなければならぬと杉山先生は決意されました。そしてまた、より熱心に修行を続けられたのです。

明治25年、26歳の時、杉山先生は鈴木きせ師のもとを辞して、次に名古屋の本立寺住職・名倉順慶上人の指導のもと修行を続けられることになりました。

杉山先生の御一代の修行は、およそ三段階に分けることができます。鈴木きせ師のもとで修行された九年間が第一段階で、次の名倉順慶上人の指導を受けて修行され



た十年間が第二段階です。そして臥竜山から白川村にいたる十二年間の修行が第三段階です。

中でも本立寺における杉山先生の修行は断食、水行を織り混ぜたそれは厳しいものでした。

「ただただ道を極めたい」という思いで決行された百日の断食満願の日のことです。雪平鍋でお粥を炊き、その鍋の蓋を開けた時、金色のまばゆい玉のようなものが現れたと思うと、杉山先生は諸天神に囲まれていました。この時、杉山先生は自分の修行は間違っていないと確信されたのです。

杉山先生は多年の修行の結果、ついに「三明六神通」を身につけられました。「三明」とは、過去世、現世、未来世の三世を見通す能力です。「六神通」は、天眼通・天耳通・他心通・宿命通・神足通・漏尽通と称される六種の神通力です。「三明六神通」をわかりやすく言い



ますと、〆三世を見通して世の人々を救う力〆です。

有名なお話を二つ紹介したいと思います。

一つ目は、西春の馬場上人のお話です。馬場上人は晩年に得度をされましたが、子どもの頃から杉山先生にご縁がありました。義理のお父さんである二村さんのお使いで、よく杉山先生のごところに子供を届けていました。20歳の時に、伝染病の腸チフスに罹りました。入院して45日目、病状は日々悪化し、ベッドの上でもがき苦しんで激しく暴れたため、ベッドから落ちて腸が破れてしまいました。大出血で意識を失い、呼吸も心臓も止まってしまいました。医師が死亡宣告をしました。遺体にはすぐに死後処理が施されました。義父の二村さんは、それを見届け、直ちに杉山先生のごところに行きました。昔の方は人が亡くなるとすぐに、杉山先生に故人を仏さまの世界



に送おくってくださいますと、「無上道むじょうどう行き」のご供養くようをお願ねがいしていただきました。二村ふたむらさんもそうされたのです。

杉山すぎやま先生せんせいは「20歳さいで亡なくなったのかね。かわいそうなことをしたね」と手てを合あわせられました。すると杉山すぎやま先生せんせいは、「馬場ばばさんはまだ亡なくなっておらんよ。私わたくしが功德くどくを送おくるから、すぐに行いって、お題目だいもくを唱となえて神通じんつうをかけたあげなさい。そうすれば間違まちがいなく生き返かえるよ」と言いわれたのです。二村ふたむらさんは一目散いちもくさんに帰かえって、火葬かそうを待まつばかりの状態じょうたいの馬場ばばさんの体からだに杉山すぎやま先生せんせいの言葉ことばを信しんじて、懸命けんめいにお題目だいもくを唱となえながら神通じんつうをかけました。一説せつによると五時間じかん、六時間じかんされていたと聞ききます。そしてついに馬場ばばさんは息いきを吹ふき返かえされたのです。晩年ばんねん、縁えんあつて得度とくどされ、90歳さい過ぎまで元氣げんき良くご法話ほうわをされ、天寿てんじゆを全まことうされました。



もう一つは、東京支部での子宮外妊娠のお話です。これは法音寺の胎教の始まりでもあります。杉山先生は帝都・東京で三徳の教えを弘めたいと考えられ、大正5年、上野桜木町に東京支部を作られました。支部ができてすぐの頃に、村上松次郎という方が相談に来られました。村上さんは事業に失敗して名古屋から上京して来たのですが、加えて奥さんが身重で、しかも子宮外妊娠のため医師から手術を勧められていました。また、「早くしないと母子ともに助からない」とも言われていました。しかし手術を受けるお金もなく、借りるあてもない村上さんは困り果てて相談にこられたのでした。

杉山先生は「妙法の『妙』という字は『よみがえる』と解することができません。難産を安産にするには妙法を信じて実行することです。まず難産の原因を知る必要があります。難産で苦しんだり死んだりすることは世間



よくあることですが、もちろんこれは偶然に起こるもの
ではありません。すべて前世からの悪因のためです。そ
れは、宿れる子が親の仇敵ともいふべき魂を持っている
故に起こるものです」と言われ、しばらく瞑目合掌され
ると、おもむろに口を開かれました。そして、「妙法は
ありがたいものです。その仇敵の魂を成仏するよう追善
をなして、その魂を去らしめ有徳の魂と入れ替えること
ができると思います。妙法によって蘇らせる方法をとら
れてはいかがですか」と言われたのです。

村上さん夫妻は半信半疑でしたが、ともかく杉山先生
におまかせすることにしました。杉山先生はまず、今宿
っている子の魂を成仏させるために、白米十俵を貧しい
人々に施され、さらに法華経の書かれた書物の人々に施
され、両親には一心に妙法を唱えることを勧められまし
た。月満ちてこの功德は顕れ、村上さんの奥さんは安産



で男の子を生むことができたのです。九死に一生を得て、村上さん夫妻は涙を流して感謝し、妙法広宣流布のお手伝いを固く誓われました。これが、妙不可思議な魂の入れ替えとなる、胎教の始まりです。

三明六神通のような偉大な力は、我々凡夫にはありません。しかし、杉山先生は言われます。

「今この時から善の種まきをします。行住坐臥お題目を唱えるのです。そして三徳の実行です。精神的・物質的に功徳を重ねて行くのです。そうすれば何も心配ありません」

実際に杉山先生は、絶えず右手に数珠を持って、その数珠を爪繰りながらお題目を唱え続けておられました。

千種の中道に本部があった頃のことです。



すみ込みで修養していた若者が、ある夜ふと目をさますと、お題目を唱える声が聞こえてきました。よく聞いてみると杉山先生のお声でした。午前3時でした。

先輩の信者さんに尋ねると、深夜に杉山先生がお題目を唱えられるのは珍しいことではないとのことでした。

後日、その若者が杉山先生に深夜のお題目の理由をお尋ねすると、その答えは「お題目の貯金」でした。

杉山先生のお話によると、「信者さんの大きな罪障を消滅する時には、何万というたくさんのお題目が必要で、昼夜の別なく根気よくお題目を唱え続けて功德を蓄積しておかないと、肝心な時に間に合わない」ということでした。また次のようにも言われたそうです。

「このお題目の蓄積を怠ると、私は諸天から催促され、叱られるのです。怠けているとカチンカチンと、諸天善神に頭を叩かれるのです。それはかなり痛いもので、骨



身にこたえます」

大正10年頃から、杉山先生の活動がマスコミに取り上げられるようになり、杉山先生は『女日蓮』と呼ばれるようになりました。当時の名古屋新聞は『女日蓮』妙法華経に生きんとする辰子』と報じ、読売新聞は『女日蓮の施米』と報じています。また、同紙では『婦人界消息』というコーナーで、『杉山辰子（仏教化救済会会長）』という目下名古屋東区の本部に滞在中、近く入京の予定』と報じられるほどでした。

NHKの名古屋放送局はちょうどその頃に開局されました。相当な有名人であった杉山先生にラジオの生放送の講演依頼が数回にわたってありました。ある時、予定よりも早くお話が終了しました。局員があわてていると杉山先生は少しも動じず、「さあ皆さん、一緒にお題目



を唱えましよう」と呼び掛けられ、最後までお題目を唱え続けられたということです。

「慈悲・至誠・堪忍」はとてもわかりやすい教えです。それ故、世の人々の中にはその深いところがわからない方もあります。

金峯山寺の大峯千日回峰行を成満された塩沼亮潤大阿闍梨という方がおられます。塩沼阿闍梨は、比叡山の千日回峰行を二度成満された酒井雄哉大阿闍梨をテレビで子どもの頃に見て、自分も将来お坊さんになってあの修行がしたい〃と思われたそうです。いろいろ調べてみると、比叡山の千日回峰行よりも、吉野の金峯山寺の千日回峰行の方がより過酷だと知りました。〃それを知ったからには、そちらを選ばなければいけない〃と思ひ、



金峯山寺の門を叩かれました。どちらにも、筆舌に尽くしがたい難行ですが、比叡山の千日回峰行は過去に大勢の方が達成しておられます。一方、金峯山寺の千日回峰行は千三百年の歴史の中で塩沼阿闍梨が二人目です。

塩沼阿闍梨は、この過酷な行をするにあたって、毎日日記をつけられました。そして999日目を終えた時に書かれた言葉が「人生生涯小僧のこころ」です。〆行を終えたら、吉野山に小僧として入山した日と同じ気持ちに立ち戻り人生を生きよう〆と決心されたのです。

修行を終えられた塩沼阿闍梨は言われています。

「この修行でわかったことは、〆私達は生きていくのではなく、生かされている〆ということ。そして〆すべてに感謝しなければいけない〆ということ。〆むずかしい宗教哲学や宗教的理論は、あまり必要ないと思えます。あってもいいし、研究してもいいけれど、



頭あたまでっかちになつてそれを議論ぎろんしすぎて互たがいに争あそうことは、短みじい人生じんせい、非ひ常じょうにもつたいないことです。膝ひざをつきあわせた人ひとと人ひとが心こころを通かよい合あわせ、笑えが顔おで相あ手てを思おもいやる。それが一ばん番ばんの幸しあせではないでしょうか。大だい事じなことことは人ひとに施ほすことことです。誰だれにでもできる施ほしごとが二ふたつあります。一ひとつは、人ひとに優やさしい言こと葉ばをかけてあげることことです。もう一ひとつは人ひとに優やさしい笑えが顔おで接せつすることことです。優やさしい笑えが顔おで言こと葉ばをかけられた人ひとは、心こころが潤うるい、それが生いきる光ひかりとななるのです」

杉山先生すぎやませんせいも多た年ねんに及およぶご修しゆ行ぎやうのあ後とに「人じん生せいの肝かん心しんは、慈じ悲ひ・至ま誠こと・堪かん忍にんですよ」とおおしやいました。それを教おえていただける私わたくし達たちは幸しあせです。ぜひ行ぎやう住じゆう坐ざ臥がのお題だい目めと日ひ々びの三さん徳とくの实じつ行ぎやうを続つづけていただきたいと思おもいます。



秋のお彼岸です。

ご先祖さまに感謝の誠を捧げましょう。

法音寺各支院・布教所で

秋季彼岸会が行われます。

ご家族お揃いでご参詣ください。

◆今月の山首上人さまご親修日程

一宮支院	9月5日(日)	田川支院	9月11日(土)
瀬戸布教所	9月19日(日)	神戸支院	9月21日(火)

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	5日・12日・25日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	14日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市長崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	5日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・25日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825 ☎連絡は本山寺務局へ
佐屋支院	4日・12日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・21日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・12日・20日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・19日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3-4-75	☎(0595)21-0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	5日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
福井布教所	4日	あわら市春宮3-28-2	☎(0776)73-5234
和泉支院	22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(0724)66-3112
神戸支院	11日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	5日・7日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・19日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	11日・26日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	4日・12日・19日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	12日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	19日・23日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	12日・26日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	11日・26日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・23日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・25日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	13日・26日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

お知らせ

令和3年10月10日(日)

『全山一斉清掃奉仕の日』

青少年育成委員会主催



全国の各支院や布教所で、近隣の落葉集めや清掃を行います。感謝の心で清掃しましょう。

※これまでの清掃活動の様子



お世話になっている地域へ感謝を込めて...



私たちの住む街をキレイに！



一生懸命お掃除したよ！

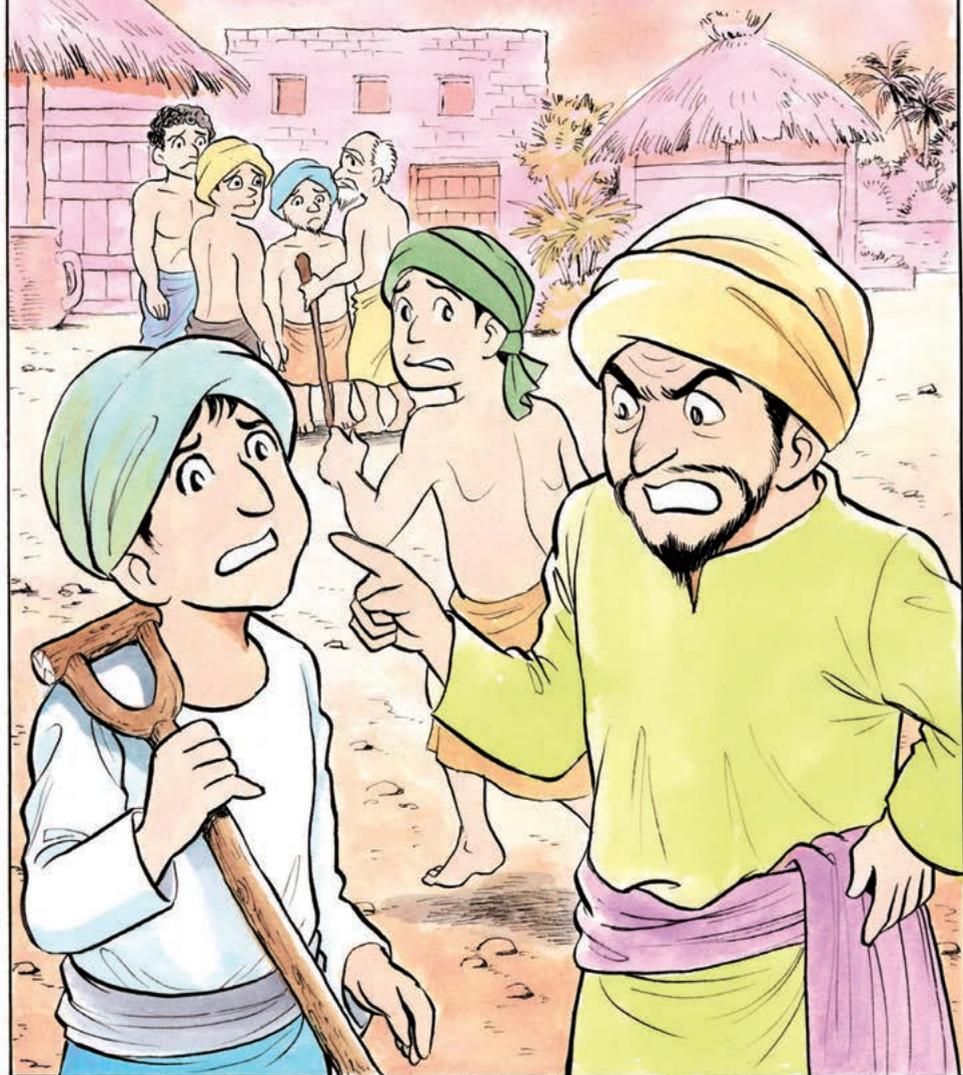


ぶっぎょうせつわ

仏教説話

らんぼうもの にゅうわひと

乱暴者と柔和人





その昔 王舎城から
少し離れた所に
小さな村がありました



その村には井戸がなく
遠く離れた川まで毎日
水を汲みに行かなくては
なりませんでした



みんな
きいてくれ

そこで村長は村人達に…



この村に
井戸を掘ろうと
思う

井戸？

そりゃ
いい！

川まで汲みに
行かなくて
いいよな

ああ 井戸が
あったら
助かる！



掘る作業の
指示は私がやる

協力して
くれるか？

おー

うんとも
いいかも



いいか ここの
井戸を掘る

十日間掘り続けられ
粘土層た
その下の砂利…

ところが計画通りには
進みません



おい！
何してる
もっと深く
掘り続ける



なんだ二人
だけか？！
みんな疲れて
休んでるんだ



まったく
…
近頃の
若いもんは
役に立たねえ
ヤツばかりだ



ちえつなんでえ
自分は何もしねえで
文句言つなよな



村長は気が短く
すぐに腹を立て
何してる
早くやら
ねえか！
村人のことを
顧みない人だった
のです



あなた
井戸なんか
掘ってどう
するのよ？



村人のヤツらから
井戸の使用料を
とってやるのよ
もうかるぜ
へへへッ

いつしか村人は村長の
言うことをきかなくなり

何してる
作業を
早く始める



悪口を言うおうちに
なつたのです

自分勝手に
乱暴者め
ヘン
やっつけられるか



おい
みんな…
待てよ



お釈迦さま
私はあなたの教えを
受けたくて尋ねて
まいりました



どうされ
ました？





ここに貪りの心を
持った男がいたとする



すると彼はその心のために
他人の怒りに遭い
他人の怒りに遭えば
その男もまた怒ること
なってしまう



そうすると人々は
男のことを
「乱暴者」と
いうようになる



その心のために人の怒りに遭い
自身も怒りを発すること
なるでしょう



また憎しみの心
愚かしい心を持つ人も



村人は村長の私を
「乱暴者」といいます
世の中には「柔和な人」と
いわれる人がいます

いったいどんな理由によって
「乱暴者」といわれたり
「柔和な人」といわれたり
するのでしょうか



人々は男を
「乱暴者」と
うつろいになります



…
これは私のこと
じゃないか

もっと早く
やらねえか！

まったく役に立たねえ
ヤツばっかだ

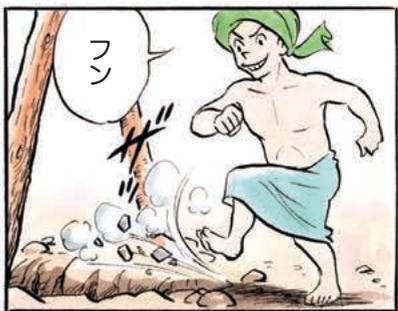
井戸の使用料を
とってやるのみ
もうかませ



村長よ
貪・瞋・痴の三毒を慎めば
「柔和な人」となれるでしょう
この三毒は「自分さえ良ければいい」
という自分勝手な考えから
起ります

他人の怒りに遭っても決して
怒りを発してはなりません
三毒は徳を減らし罪障を作ります
自分中心の考えを改めていくと
良いでしょう

よし 今から
貪りの心
憎しみの心
愚かしい心を
改めよう





これが私の作った
罪障か：

みんな：
私が悪かった



今まで苦しめて
本当にすまなかつた
今までの
罪滅ぼしのために
みんなのために
井戸を
掘らせてくれ

そんなこと
言われても
信じられ
ないなあ



数日後



オシ達も
手伝うか

やるか！

そつだな

村長

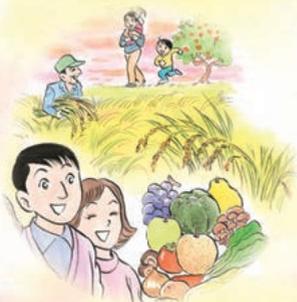
村長

村長

おわり



お彼岸



YouTube

お彼岸の
仏教漫画動画
はこちら →



<https://youtu.be/ZBL6B0QCGCw>



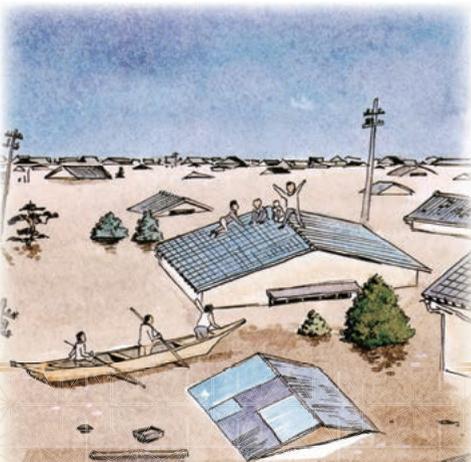
知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと ②1

伊勢湾台風

昭和34年9月26日、戦後最大規模の台風15号が東海地方を襲い、名古屋市内の15万世帯が浸水する大災害となりました。後にその被害の大きさから「伊勢湾台風」と名づけられました。

名古屋市街では瞬間最大風速45・7メートルの強風が吹き荒れ、激しい雨が叩きつけました。コンクリートや鉄筋の入った頑丈な家の少ない時代、強風に瓦は木の葉のように舞い飛び、窓ガラスが割れると部屋中の物が舞い上がりました。瓦の飛ん



だ屋根からは絶え間なく雨がもり、停電で光のなくなった暗闇がさらに恐怖に拍車をかけました。

なお悪いことに伊勢湾では、台風の上陸と満潮が重なり、通常よりも3〜4メートルも大きな高波が襲いかかりました。その結果、堤防がいたるところで決壊し、地盤の低い地域に海水が流れ込みました。貯木場にあつたラワン材が大量に流出して家を壊し、多くの人命を奪っていきました。

法音寺本堂の屋根も飛び、畳はびしょ濡れ。庫裡棟の二階には、太い木が屋根を突き抜けて倒れ込んでいました。容赦なく襲ってくる自然の猛威に、なすすべもありませんでした。山内にいた一人の若い僧は、天井が抜け、空が見える本堂で、風に負けぬよう、雨に負けぬよう、ひたすら唱題し、大太鼓を叩き続けました。

台風が通過したほとんどの場所で、瓦が飛び、窓ガラスが割れ、室内は水浸し、土壁が崩れ、立木が倒れるという被害に見舞われ



ましたが、特にひどかったのは浸水被害でした。木曾川・揖斐川・長良川などにも海水が逆流し、浸水地域が広がったのです。バラバラになった住宅の木切れや板切れが水面を覆い尽くしました。

悪夢の夜が明けた翌27日は台風一過の秋晴れとなりましたが、地盤の低い地域では数メートルの泥水に浸かり、孤立して屋根に上って救援を待つ人が16万人に及びました。その後もなかなか水は引かず、場所によっては一カ月近く泥水に浸かったままの所もありました。

台風通過後、これまでに経験したことのない災害で、人々は茫然とするばかりでした。電気・ガス・水道も使えない状況が何日も続けば、法音寺に住む人はもちろん、施設の子どもの生活そのものがおぼつかなくなります。

その後、鉄道が復旧すると全国各地から握り飯や衣類、毛布な



どの救援物資が届けられました。修学（御開山上人）は、トラックに救援物資を積み込むと被害のひどい地域を巡り、慰問品を届けて回りました。道路が冠水し、トラックが先に進めない状況で、若い僧侶達が躊躇する中、真っ先に泥水に飛び込んだのは修学でした。過労から脳血栓になり、八カ月間病の床に伏せていたことを感じさせないすさまじい気迫でした。



「お体にさわりますから、おやめください」という周囲の声に聞く耳を持たず、胸まで水に浸かって、ひるむことなく物資を肩に担いで、荷物を運ぶ修学でした。

そうした活動は毎日続き、二カ月にも及びました。その行動は全国の僧侶の間でも評判となりました。

参考文献



御開山上人伝
『泰山』第五話



お寺の本棚

仏智

『現代生活の指針』



人間はこの世の中に何をするために生まれてきたものでしょうか。生きていくから食わねばならぬ、食うために働くのである、食えたら寝ている、それでは畜生類となら変わりのない生活になってしまいます。夢のように暮れて夢のように死んでいく、いわゆる「酔生夢死」に終わってしまったては生き甲斐はありません。失礼な言い分ですが、世の中の人々はこんな生活が多いのではないのでしょうか。なおその上に貧苦、困苦、病苦等に苦しんで、楽しくもない日を暮らしている人や、貪り、怒りのために益々困窮していく人も多いのであります。

この人達をたとえ少数人数でも助け救うことができたならば、本当にありがたいことです。貧苦、困苦、病苦を救ったならば、世の中の人々はどんなにか喜ぶことでしょう。

この苦しみを救うのは、物質や科学の力のみでは駄目です。精神すなわち心を救わねば完全に救ったことにはなりません。これを救うものは仏さまの教え、法華経であります。（中略）そして、ことに大事なことは、私達もこの法華経を体得して悩める人を救うことができ、自分も仏の教えを学び実行したならば、大勢の人を救うことができることと知ることです。私達がこの世の中に生まれてきたのは、悩める人を救うためであったのです。

法師品には「仏さまの遣い」であるとあります。私達は、本当に仏さまの使者として生まれてきた



のです。それならばみな坊さんになったらよいかというと、坊さんばかりになっても仕方がありません。仏さまが四衆と仰るのは比丘（男性の坊さん）比丘尼（女性の坊さん）優婆塞（在家の男性）優婆夷（在家の女性）のことです。この四衆はみな仏の遣いとして世の人々を救う人々であります。農業、工業、その他の勤務をしている人々も、各種各層、各処に散在して、仏さまの教えをそれぞれの仕事、職場を通じて実行し、大勢の人の心に尊いみ教えを沁み込ませて、大勢の人の精神の悩みを救うのであります。

坊さんは衆生済度を専門にしているのでありますから、つねに仏の教えを学び、修行して体験を得、その体験と悟りを優婆塞、優婆夷に教えねばなりません。そうして四衆共に、仏さまの悟りと体験を聞き学んで、十方に法華経の真理を伝え、大衆を救っていくのであります。されば法華経を見聞する人は、ことごとく仏の遣いであります。経には「もしひそかに一人のためにもこの経を説かん、これ即ち如来の遣いなり」とあります。この法華経をせめて一人にでも説き聞かせることは、その一人を助けることであります。すなわち、仏さまの一大事のお手伝いをしてるのであります。（中略）

この大きな徳を我々が積むのでありまして、この大きな徳を積むためにこの娑婆世界に生まれてきたのであります。私達がこの世に生まれてきたのは、こういう使命をもって生まれさせていただいたもので、この世に生まれたことは本当にありがたいことであります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

教えて三徳

三徳とは、慳貪（貪り）の心を翻して施しの心とし、

瞋恚（怒り）の心を転じて柔和忍辱に変え、

愚痴を改めて智慧と変えることです。

（二祖・村上斎先生）

◆ 人間関係を良くするには…

自分が写っている集合写真を見る時、あなたは最初に誰を見ますか？まずは自分の映りを確認しませんか？それはつまり、〝誰よりも自分が大切〟と思っているからです。ですから自分に対して好意を持ち、大切に扱い、信頼し、時にほめてくれる人は、とても大事な味方感じます。あなたが苦手に感じている人も実は同じように思っています。

良い人間関係を作るには、〝ほめ合う〟ことです。相手の悪いところはすぐに目につくも

のですが、欠点は誰にもあるのです。あなたにも欠点はあります。でもあなたが欠点以外に良い部分を持つように、相手にも良い部分が必ずあります。〴〵一体どこをほめたらよいのだ？〴〵という場合、あなたがその人をマイナスの方向からしか見ようとしていないという証拠です。勇気をもってほめてみると、必ず変化が起ります。

《ほめ合う》（慈悲心）

人は誰しも、自分をほめてくれた人には、自分に對するその気持ちをいつまでも持ち続けてもらいたい〴〵と思うものです。そして自分に好意を持っている人には協力的になるのが人間です。いつも意識して相手の「ほめる」部分を探すことが大切です。相手の良い点をほめる慈悲心を養いましょう。



ひろば

福祉の



幸せのお手伝い

「食」を通して「幸福」の笑顔を
与えていきたい

さまざまな利用者さんとの

出会いに感謝

その女性の利用者さんは毎食後、車椅子で下膳コーナーまで来られ、「ごちそうさま」と声掛けしてくださいました。「名前は何？」と聞いてくださり、その後は「三谷さん、ごちそうさま」、「今日も頑張ってるね」と。日々、優しい笑顔と優しい言葉を掛けてくださり、何度も励まされました。数年後、その方が亡くなられた後もしばらくの間、下膳コーナーに立つ私は、変わらぬ笑顔で話しか

けてくださったその方の残像を感じていました。

また、施設内でも中庭でも遠くからでも、「おい」と声を掛けてくださる男性の利用者さんがいます。普段、厨房の中で働いている調理員の私と利用者さんとの接触は決して多くはありません。それでも私に力強く呼び掛けてくださるその気持ちがつれしく、大きな力を与えていただいています。

ほかに、雨風の天候など関係なく面会に通われる男性利用者さんの奥さまがおられました。ご自宅ではどんなご主人であったのでしょうか。奥

さまは、毎日どんな気持ちで通っていたのでしょうか。その光景が利用者さんとそのご家族のことを考える大きなきっかけとなりました。

祖父母との生活を経験したことのない私には、高齢者に対する知識もなく、食事サービスに関しても無知でした。そんな時、無知だからこそ昭徳会の基本理念「幸福」と職員行動指針、また「安全な食事サービス」の提供について掘り下げて考えてみようと思いました。

「食」を通して「幸福」を、という福祉の世界に身を置く調理員として、臨機応変な対応力や調理援助技術の向上に努め、責任感を持つという気づきと成長の機会を与えてくださった利用者さんに感謝しています。

これからも、利用者さんお一人おひとりの人生

を尊重しつつ、「食」に対する「傾聴」にも重点を置きながら、「食」を通して「幸福」の笑顔を与えていきたいと思っています。

特別養護老人ホーム 安立荘 調理員 三谷 富美子



「地域福祉の礎」



写真提供・昭徳会

地域密着型 特別養護老人ホーム いこいの宿高浜安立 ～地域共生社会の一員として～

昭徳会が高浜市内で運営する「いこいの宿高浜安立」は、市内では貴重な個室完備の小規模ショートステイ施設として平成17年から運営されてきました。当時は相部屋の施設が多かったのですが、高齢者人口の増加が見込まれる中、プライバシーに配慮し家庭的な雰囲気のある施設が求められていました。高浜市内だけではなく近隣市の方々にもご利用いただき、近年は障がい者の方の宿泊施設としてもご利用いただけるようになりました。こうした取り組みは、社会福祉法人として今後の社会福祉の基盤となる地域共生社会（※）の実現に向けて、すべての方が支えあって地域で生活していける手助けとなる役割を担っていくために行われてきました。

しかし、昨年度より新型コロナウイルス感染症の拡大により、その影響を介護サービス事業所は多分に受けるようになりました。現在もその勢いは収まる様子を見せませんが、福祉サービスの利用控えや感染者の動向により事業が安定しない状況が続くようになり、今まで行ってきた事業を見直す必要が出てきました。社会福祉法人として高浜市の発展に寄与し、かつ安定的に貢献できる



事業は何かを検討した時に、地域ではまだ入所施設の整備の必要があることがわかりました。そして、今年4月より高浜市の方が利用できる「地域密着型の特別養護老人ホーム」として事業を転換することになりました。

事業転換にあたっては、今まで利用されていた方々が困らないよう、新たな事業として行う老人ホームに入所いただいたり、他の福祉サービスを紹介したり、空床利用の短期入所事業を継続するなどの対応を行いました。

新たな事業になりましたが介護職員はそのままに、ご利用者の方々にとって馴染みのある職員、空間で皆さん落ち着いた生活を送っています。以前から取り組んでいる回想法や科学的介護についても継続して行い、認知症予防と健康維持に努めています。またコロナ禍の中、外出行事がな



かなか行えませんが、昨今はインターネットを介した仮想ツアーを実施してくれるサービスがあり、介護が必要になった方にとっては、楽しみの一つとなっています。

以前の生活に戻るにはまだまだ時間がかかると思いますが、地域の方々との交流もワクワクン接種が進むごとに徐々に再開できると思います。新たな事業形態に変わりましたが、地域の皆さんに支えられて今日を迎えられていることに感謝し、いつか笑顔で皆さんにお返しができるよう職員一同頑張っていきます。

※地域共生社会とは：制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。

特別養護老人ホーム 高浜安立荘 管理課長 若松 健之



につぶくプクプク水広場を開催

～日本福祉大学スポーツ科学部～

7月17日(土)、美浜キャンパススポーツ科学部棟「SALTO」のプールで「につぶくプクプク水広場」が開催されました。障がいを持つ子ども達を対象に、プールが好きな子も苦手な子も、みんなが一緒に楽しめる運動を紹介して、交流を楽しむことを目的に実施されました。

企画・運営したのは、スポーツ科学部の授業科目「ふくしスポーツ演習」を学ぶ3年生20名。「ふくしスポーツ演習」は、子ども、障がい児・者のためのスポーツ・レクリエーション活動を企画・開催・運営することを通じて、「スポーツ事業の企画・運営力とリーダーシップ力」「対象者理解」「指導スキル」の3つの力の習得をめざしています。

美浜町福祉課、NPO法人チャレンジド、知多南部地域自立支援協議会美浜町部会にも共催していただき、当日は美浜町内の障がいのある小学生と放課後デイサービス「ちゃれっこくらぶ」のメンバーなど11人と保護者が参加。

音楽にあわせて踊る指導者をお手本に、水中で手や足を大きく動かす「まねっこ遊び」、ポーズをと



写真提供・日本福祉大学



りながら歩く「水中忍者」、フラフープをトンネルに見立ててくぐる「水中フラフープ」、「宝探し、玉入れゲーム」など、4つのレクリエーションが、一時間半にわたって行われました。さらに、家庭でも運動やレクリエーションを続けてもらえるように、学生達が自ら出演する動画を作り、QRコードを読みとることでの動画を見られるような工夫も試みました。

障がいのある子どもへの運動指導方法、要項づくりから報告書の作成、道具の準備や感染対策など、学生達はさまざまなことを経験し、自身の将来のキャリアに向かって成長を実感できたようです。そして子ども達の笑顔が、何よりの収穫だったと語っています。



今回、無事対面でイベントを実施することができましたが、その他の演習科目では、なかなか対面での実習がかなわないものがあります。その一つが、スポーツ指導の実践力を養うため、2年次全員が履修する「スポーツフィールドワークI」です。学校や福祉施設、地域のスポーツクラブなど、それぞれ対象者に応じた

運動プログラムを作成し、現場での指導を体験する科目です。

昨年は現場での指導が全くできま
せんでしたが、今年は新たな試みと
して一部のクラスでリモートによる
運動指導にチャレンジしました。写
真は、放課後等デイサービスに通う
子ども達を対象とし、学生らが考案
したプログラムを実践している様子
です。この日は、学生達が考えたオ
リジナル体操、ジェスチャーゲームを行いました。



制約が多い環境はまだありますが、その中でも実施できることを考え、アイデアを出し合いながらさまざまな工夫を凝らし、チャレンジする学生達の姿に、励まされる毎日です。「障がいのある人を含む子どもから高齢者まで、すべての人の人生にスポーツの楽しさと健康を提供できる力を持つ人材を目指す」ースポーツ科学部の取り組みはフェイスブックで発信しておりますので、興味のある方はぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/NihonFukushiUnivSports/>

スポーツ科学部事務長 福田 由紀子

謹んでお見舞いを申し上げます

このたびの記録的豪雨により

被害を受けられた皆さまのご健康と

一日も早い復興を

心よりお祈り申し上げます。

大乗山 法音寺

編集後記

現代を生きている私達は、正義を求めるあまり他者に対する視線が厳しくなる傾向があるように思われます。特に問題があった場合、責任の所在の追及は、メディアでも、職場でも、場合によっては家庭でも起きるものです。いつか自分も矢面に立たされるのでは？と緊張と不安を感じながら暮らすのは不健全です。そしていつの間にか自分のことは棚上げ、誰かの欠点や失敗を批判することに染まっているとしたなら、それはとても不幸なことではないでしょうか。

御開山上人は次のように説いてくださいました。「悪世といわれる現在の世の中の人々は、人の欠点を吹聴し合うような行いが多いので、お互いに心と心に隔たりを生じ、不和を生じて家の乱れとなり、国の乱れとなります。お互いに相手の長所を讃嘆し合うならば必ず、一家円満、国も治まり、幸福は期せずして招来します」

(『現代生活の指針』)

法音寺で日々教えを聞いている私達は、日常の言動や行動が三徳の教えにきちんと紐づいていなければなりません。お寺で六波羅蜜が説かれるお彼岸を機に、お互いに日常を振り返ってみませんか。

感謝

竹中 淳





母^{かあ}さんはね
おまえ達^{あなたたち}に
喜んで^{よろこ}でもらいたくて
毎日^{まいにち}食^く事を^{しごと}
作^{つく}ってるんだから
あんな口^{くち}きいちゃ
ダメだよ

ん？

蓮^{れん}！

じゃ
お墓^{はかそうじ}掃除^じ
手^て伝^{でん}つてよ
いいよ



もつと
感謝^{かんしゃ}
しなきゃ

毎日^{まいにち}食^く事を^{しごと}
作^{つく}るのつて
大^{たい}変^{へん}なんだから



キ
ユ

あそこでバケツに
水^{みず}を汲^みんできて
おくれ



重^{おも}かったら
ありがとう

ばあちゃん
これで
いい？





私はいつも
お礼を言うの

何で？
お願いすれば
いいのに



私は何も
頼みはしないよ

ばあちゃんばあ
ご先祖さまに
何をお願いしたの



ご先祖さまの
お陰でいつも
私達家族は
健康で幸せに
暮らして
おります

ありがとう
ございますって
感謝の気持ちを
伝えたわ



蓮みたいに
たまにお参りに来て
いっぱい
お願いするより

ありがとう
ございますって
感謝されたら
ご先祖さまだって
喜んでくれるわよ

何か困ったことが
あったら言いなさい

そう言うって
くれるかもよ



どんなこと
感謝していいか
わかんないよお



もう一度
ご先祖さまに
感謝の気持ちを
伝えてみたら？

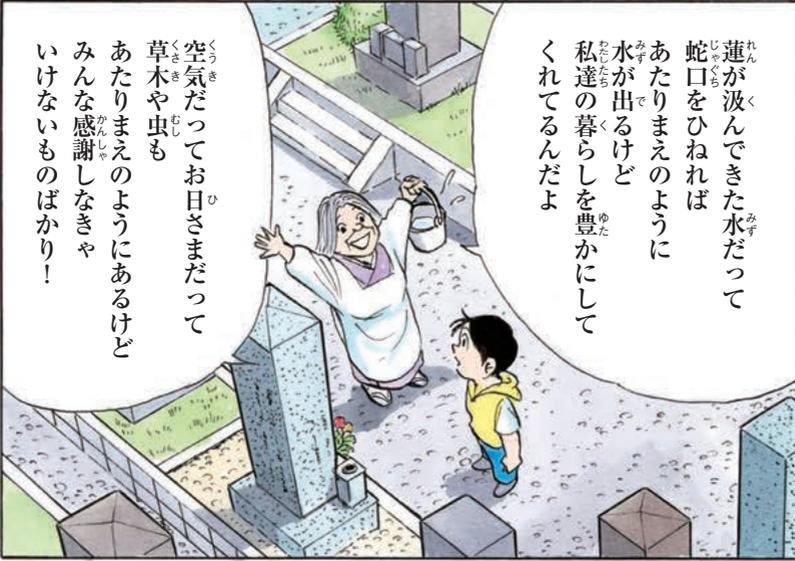
うん

自分の身の回りを
見渡してごらん
たとえばこの水…



蓮が汲んできた水だつて
蛇口をひねれば
あたりまえのように
水が出るけど
私達の暮らしを豊かにして
くれてるんだよ

空気だつてお日さまだつて
草木や虫も
あたりまえのようにあるけど
みんな感謝しなきゃ
いけないものばかり!



家族 友達 先生
毎日会う人みんな
蓮が生きていくために
いてくれるありがたい
人達でしょ

このすべての人達を
失った時のことを
考えてごらんよ

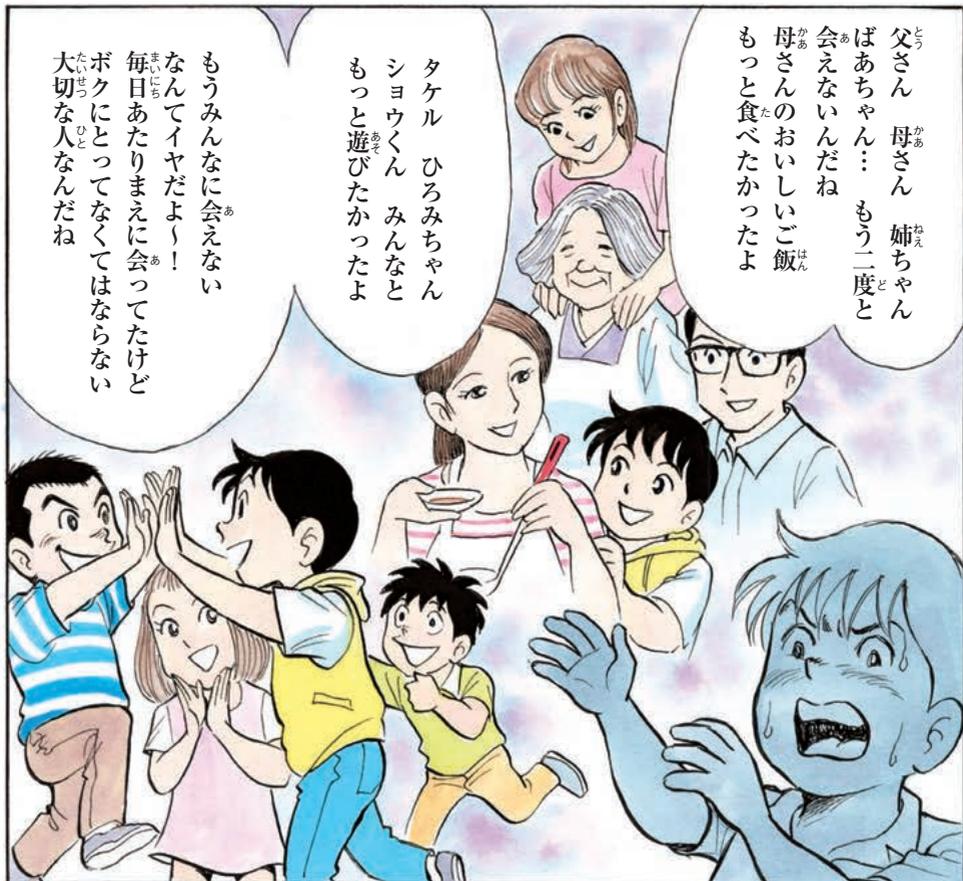


あ そういえば
ボクはいつか
怖い夢を見たんだ



それは
ボクが
死んじゃう
夢だった

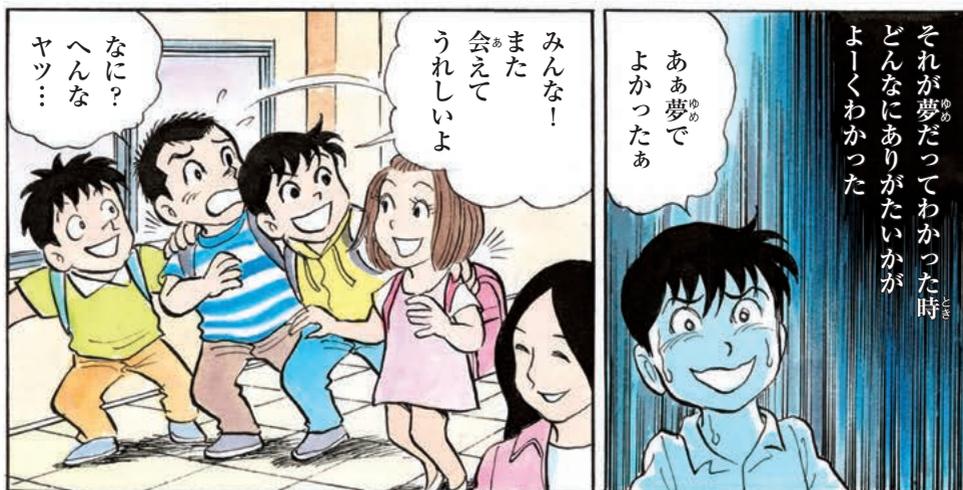




とうさん 父さん
かあさん 母さん
ねえちゃん 姉ちゃん
ばあちゃん： もう二度と
あえないんだね
かあさんのおいしいご飯
もつと食べたかったよ

タケル ひろみちゃん
シヨウくん みんなと
もつと遊びたかったよ

もうみんなに会えない
なんてイヤだよ！
毎日あたりまえに会ってたけど
ボクにとってなくてはならない
大切な人なんだね



それが夢だってわかった時
どんなにありがたいかが
よくわかった

ああ夢で
よかったあ

みんな！
また
会えて
うれしいよ

なに？
へんな
ヤツ！



ありがとう



きょう
今日は暑い中
お墓の掃除を
手伝ってくれて
ありがとう



もう
いいかい？



はい これは
私から連に
感謝の気持ち
だよ

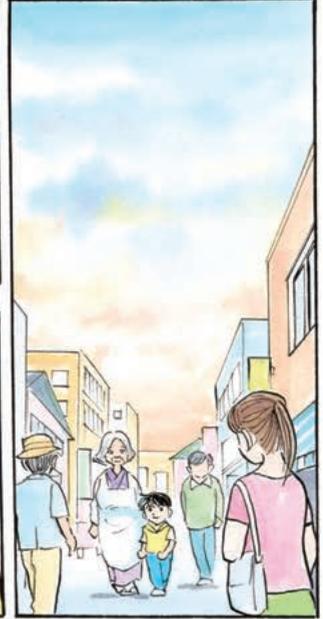


ええっ
本当!?

蓮がいい子だったら
お小遣いを
やってくれて
じいちゃん言ってた
からね



ありがとう
へへっ
早速願いが
かなっちゃった



おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市中区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<http://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和3年9月号・No.623・令和3年9月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社